

令和3年度 富山県畜産振興推進方針について

I 基本方針

- 生産基盤の整備や生産技術の高位安定化により、畜産経営の維持拡大と畜産物の安定的な供給及び県産畜産物の消費拡大と銘柄化を推進する。
- 畜産農家への定期的な衛生指導や防疫対策の徹底などにより、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱及び口蹄疫など家畜伝染病の発生予防とまん延防止に努める。
- 地域と調和した畜産経営を進めるとともに、畜産が持つ多面的機能を活用し、耕作放棄地等の有効利用と景観保全など地域活性化の取組を進める。

II 主要目標指標

区 分		令和3年度目標	(参 考) R2年度見込み
畜産物の生産量(t)	生乳	11,060	9,919
	牛肉	608	578
	豚肉	3,359	3,231
	鶏卵	19,000	21,481
飼料自給率(%) (飼料作物面積等から推定)		29.0	26.7
飼料用稲面積 (ha) (県内生産・流通)	飼料用米	810	704
	稲WCS	420	408
	計	1,230	1,112
水田放牧等の面積 (ha)		40.0	32.6

III 重点推進事項

○ 生産基盤の整備

- 1 国内の他の産地や輸入畜産物との競争に打ち勝つため、国の畜産クラスター事業等による施設・機械の整備支援や公共牧場の活用、スマート農業技術の導入等により生産基盤の維持・拡大を推進。
- 2 離農農家等の円滑な継承や新たな担い手等の確保対策を推進。
- 3 優良種畜(受精卵、高能力種豚)や性判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進。

○ 経営の安定化と食の安全確保や消費者への情報発信

- 1 畜産物の価格安定制度等の活用により経営安定を図り、安定供給と生産を推進。
- 2 家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、豚熱ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の確保など体制整備を推進。
- 3 富山食肉総合センターでのHACCPによる衛生管理を実施するとともに、エコフィードなどを活用した畜産物のブランド化や消費拡大の取組みを推進。

○ 地域との調和と多面的機能の活用

- 1 飼料用米・稲WCSの生産・利用の推進、未利用資源の活用による飼料自給率向上を図るとともに、堆肥を活用した土づくりなど耕畜連携による循環型農業を推進。
- 2 農場HACCP検査や畜産GAPの推進及び環境基準の遵守による地域との調和がとれた持続可能な畜産経営の推進。
- 3 耕作放棄地等での放牧等や蜜源である花畑としての活用を推進。